

アマダイ通信NO. 133

(Tile fish network letter) 2019年 山茶花咲く

知人・友人各位

北の国からは早や雪の便り。いつ初スキー出来るか心が躍る。後期高齢者目前だが、親に貰い、白神の海・山が鍛えてくれた頑健な体に感謝。先日も3営業日連続で日帰り出張。札幌に飛び、大阪に走り、秋田で仕事しても疲れを知らず。高齢者雇用の拡大が叫ばれても高校や大学の同期の皆さんも、毎日が日曜日の仲間が増える。営業コンサルとして独立して20余年、30才までの「天ぷら学生」が幸い、幅広いネットワークを頼りに、色々な方々に応援して頂き、「夢と夢をつなぎ、夢を形に」する。人生百年時代とは言え、遠からず最期は来る。その日まで、目一杯体を動かし、好きなお酒も楽しんで、人の役に立てればと思う。最期は病院ではなく、お酒の飲めるホスピスがいいなと思う、飲ん兵衛に老成。

◎全共闘50周年シンポ・・香港は如何に？

9月半ばの3連休最終日、東池袋の平成帝京大で在宅ケア診療所・市民全国ネットワーク／地域医療研究会全国大会、分科会シンポ「団塊／全共闘世代の未来と課題～続全共闘白書アンケートを素材に」を午後一から開催。1月12日の「帰って来たぜ！安田講堂」以来の節目。ガラガラと覚悟していたら百人ほどの会場は立ち見も。

三鷹寮で1年下、民青の活動家だった故小杉東京天文台教授のお嬢さんの京大大学院特別研究員のパネラーが、目的は同じ筈なのに、父は40才過ぎても全共闘を悪し様に言っていたと話すのを聞き、今更ながらと思う。「死出の旅路へ向かう旅人、死ぬようにしか死ねない、生きるようにしか死ねない」と、パネラーの立憲民主党の阿部知子衆議院議員・小児科医。駒場寮のML派のアジトに「🐟さん、全共闘って何？」と駆け込んで来たお茶大付属出の理Ⅲの頼りない一年生お嬢さんも、しぶとく当選を重ねる。「脊椎滑りで手術したの」とソロリ歩きは医者の不養生と体重over。「連帯を求めて孤立を恐れず」、「力及ばずして倒れることを辞さないが、力尽くさずして挫けることを拒否する」のが全共闘と若干お姉さんのパネラーのパーソナリティ、レモンちゃんこと落合恵子さんに煽られ、「起て飢えたる者よ！今ぞ陽は近し！」とインターナショナルを歌い勇ましくお開き。テーマに引かれ入って来た在宅ケアネットワーク／地域医療研究会の若い参加者は口パクも出来ず目を白黒。懐かしの活動家25人ほど、近くの中華料理屋で、全共闘敬老会。

下旬の3連休の中日夕方、🐟事務所でオールド全共闘の寄合。5百弱のアンケートを集計、団塊・全共闘の遺言、「続全共闘白書」資料編を11月中に情況出版社から刊行、合わせて年明け、記念すべき安田講堂攻防戦の51周年、1月18日（土）に学会館で出版記念会を開催することに。かつての仲間の皆さん、興味のある方は是非ご参加下さい。

東大全共闘と双璧をなした日大全共闘も9月30日のかつての古田日大総頭との大衆団交50周年ということで、記念集会。🐟は都合で日大全共闘の平田君経営の神田飛梅での夕方の懇親会だけ参加。半世紀後の出口の見えない香港の民主化運動、台湾の独立運動の帰郷に想いを致す。民族解放、自主独立、平等を求めたかつての希望の星、中国共産党は何処へ行くのか？内ではチベットや新疆の少数民族を強権で抑圧。開発独裁、国家独占資本主義を強力に進め格差拡大、外に向かつては覇権を唱え、経済・軍事進出を強化する。

◎リゾマンは大丈夫？房総を暴走！？・人生最後の？自転車の買い物

台風 15 号の去った後の 3 連休、取り敢えず赤いマウンテンバイクを 7 人乗りのワンボックスカー・エステイマに載せて房総し、南房総の海岸線を暴走、併せて鴨川は江見の海辺の書齋で通信 132 号を編集しようと思う。今回の台風で鴨川市も被害が酷く、江見のマンションを管理する東急コミュニティからは、停電中で近所のスーパーやコンビニも閉店、ガソリンスタンドも並んだ上に 5L ほどしか入れて貰えない、道も寸断されているとのことで、部屋が無事なことも確認したいが、房総での暴走は諦める。

9 月末の土曜日、2 時半に家を出、館山から洲崎、野島崎と海岸線を走る。戦後貧しく、物資が欠乏、娯楽も乏しかった時代、人口減で今は廃校になった田舎の小学校の校庭にむしろを敷き、村中総出で食い入るように見た巡回映画、「喜びも悲しみも幾年月」。高峰秀子と佐田啓二が演じる若い灯台守の名画の舞台を走りたくて迂回、渋滞なしでも江見に着いたのが 5 時半。ブルーシートで屋根を覆った家が多い。大工の手も足りず、台風の爪痕はしばらく残りそう。空き家や別荘か？ブルーシートさえない被災家屋も。飛来物でガラスが割れ、酷い状態になっていないか心配した江見のマンションは無事。隣の敷地の木造の倉庫は既に跡形もなく整地されているが、ベランダのサンダル 2 足が散乱するくらいですむ。初めて隣人と顔合わせ。ハッピーリタイア後？7 年も住み続けているという。海辺の終の住処で寄せる波を眺め、グラス傾けのんびり読書の余生もありかと思うが、「老後の蓄え」が乏しく、年金も少ない「生涯現役」の●にその選択肢はあるのか？

7 段変速のマウンテンバイクを車から降ろして乗る間もなく JR 内房線江見の駅前の居酒屋で、馬刺しが美味しいから桜と名前をつけたのかと訊ねると、若いおかみが桜が好きでとマスター。さくらと前日の日経を当てに杯を重ねる。14 日まで 5 日間は電気が来なくて店を休んだというが、喉元過ぎれば熱さ忘れるの倣い、ラグビーワールドカップ、日本が優勝候補アイルランドを破り興奮する TV を横目、休前日だけのマンションの共用の小さい大浴場を楽しみ、早々と高いびき。日曜日は生憎の雨。鴨川と太海の境のセブンイレブンまで小雨の中を、片道小 1 時間マウンテンバイク。久しぶりの自転車、走り始めの坂はきついが、足が馴れると苦にならず。海岸線の悪路はタフなマウンテンバイクがいい。6 段変速の小さい折り畳み自転車を持ち帰る。海辺の急坂は小さな車輪では登れない。鴨川経由で山道を縫い、君津から館山道とアクアラインを快走、1 時間半で晴海に。

翌週末、量販店で 21 段変速の安いスポーツサイクルをゲット。5 月の連休、越後湯沢でシーズン最後のスキーを楽しもうとすると、80 才の爺さんと 50 才前後の父親、20 代の孫息子の三人が、細い車輪のスポーツサイクルに跨り、東京まで走るといふ。小学生の時から、逡信省払下げの中古の赤い郵便自転車を、サドルからでは足が届かないので、車輪を傾け得意の「三角乗り」、オフクロが請け負った「家業」の電報配達を手伝っていた郵便局の革ちゃん、72 才にして人生最後の自転車の買い物。難所の三国峠を走破、江戸と越後往復は無理でも、房総まではと思うが、さてどうか？60 才過ぎて新型スキー、カービングをゲットした時もこれが人生最後のスキーの買い物と意気込んだが、ロッカーという新型のスキーが流行るとつい手を出してしまう。日頃の営業での歩き、休日の水泳、自転車、歩くゴルフとスキー、そして夜のお供、百薬の長で生涯現役といきたいものだが。

◎あなたならどうする？・頭にドリルで穴開けますか？

手の震えや手足の痺れ、痛みがパーキンソン病か？運動機能が低下するレビー小体型認知症か？診断が手間取る間に昨年夏、妻は脳梗塞に。起き上がれない、寝返りも打てないという大ピンチ。一晩で要介護1から要介護4に転落、大混乱。それでも施設に入りたくない一心からか？リハビリに努め、1年もかからずに要介護4から3に改善、食事を口元に運んでやるということもなくなり、猫のトイレや食事も、●がやらないでいると、ブツブツ言いながら自分でやる。これ洗ってと流しに置くだけだった朝の皿洗いも、先に食事を終えた●が自分の皿を洗って知らぬ顔をしていると、自分で洗う。洗濯物も●が朝干して夜取り込み、箆に入れておくと、翌日自分の物だけでなく●の物も畳むようになる。手伝い過ぎないようにして、少し無理をして貰うのもリハビリにはいいのか。

4週に一度順天堂高齢者医療センターでの診察に同行、タクシーを南砂町まで走らせる。今回の診察では、3錠飲んでいるスルピリドを2錠に減らし様子を見ることに。眠気が酷いので、催眠効果のある薬を毎回少しずつ減らすのが、眠れなくなることはなし。手の震えは薬の飲み過ぎ、副作用からくるのではないか？というので、薬を減らすのが手の震えは変わらない。元々は胃薬として開発されたスルピリドが、低用量では抗うつ剤、高用量では抗精神病薬の効果が期待され、近年では抗うつ剤として使われることが多く、胃薬や抗精神病薬としては余り使われないというのは、驚き。胃薬として使われていた時もドーパミンを増加させる効果があるので、精神状態に影響を与える副作用があったのか？手の震えはレビー小体型認知症のせいなのか？パーキンソン病か？色々な検査をしても結論が出ず。両方で症状が似ていて、震えを抑えるために飲む薬は同じだからと、服用する。順天堂では薬の副作用を疑い、取り敢えず服用する薬を徐々に減らして様子を見る。

結構重度のパーキンソン病の知り合いが2、3時間おきにドーパミンを飲まないとう仕事が出来ない状態、歩くのもしんどそう。先日、赤坂のスペイン料理屋で一緒に飲むが、順天堂の本院で脳にドリルで穴を開けて電極を入れ、左肩と心臓の間の位置に器具を埋め、そこからコードを延ばして脳の電極に電気を流し脳を刺激、ドーパミンを分泌させるので、ドーパミン剤を服用する必要がなくなり、すこぶる快適とのこと。

診察の時先生にその話をすると、その手術が得意な先生が順天堂の本院に一人いて、微妙な場所なので全身麻酔でなく、部分麻酔で患者の反応を見ながら手術するとのこと。妻にも部分麻酔でドリルで脳に穴を開け、電極を入れて、ドーパミンを分泌するようにして、手の震えを止めたかどうかと提案するが、そこまでは踏み切れないよう。

◎孫の進路・●流高効率？学習法

四半期に一回くらいしか会えない息子の子供達もすくすく育ち、上の孫娘は公立大にこの春入学、●婆さんと同じ栄養士を目指すという。下の男の子は中学2年生、理学療法士になる進路希望を持つと聞く。子供は可塑性、可能性に富み、成長につれ考えも変わるが、目標に向かい努力するのは結構なこと。頑張っ

て欲しい。医療関係に進みたいのであれば早くから理学療法士と狭く限定せず、医学部に入って医師を目指すというのもありか？半世紀前に比べ難関を極める医学部進学、妹の長女も長姉の孫娘も秋田大医学部を出て医者をする。医学部を目指した身内は彼女達だけだが、特別な勉強をしたとも聞かない。教科書を予習して理解、授業をしっかりと聞いて復習、解らないところは先生に質問して完全理解、を繰り返し、読書にも勤しんだのか？自分の中学

時代は予習などせず、授業を聞いて理解、宿題をするだけ。家畜の世話や電報配達などの家の手伝いもするが、明るい内は仲間と野山を駆け巡り、海に釣糸を垂れ、夏は素潜り、冬はスキー、灯りの下では専ら読書。中3の後半、月1くらいの実力試験で成績優秀者の名前の張り出し。自分の名前が先頭がないと面白くない。授業だけでは力を持て余し、受験問題集で授業の先を自習すると、授業でわかりきったことを聞くのが無駄に思え、汽車通学で時間がかかることもあり、不登校に。中3の正月明けは家で受験問題集を解き、飽きたら読書、裏山でスキー。成績トップの子の突然の不登校が問題になったとは聞かず。

高校時代、教科書は予習して理解、練習問題や演習問題を解き、授業で答合わせ。解らないところは先生に質問し完全理解。時間を持て余し、高1の時から詳しい解説付の部厚い受験参考書を○×つけながら解き、読んで理解、解らないところは先生に質問して理解、を繰り返す。最初半年でやり終えた受験参考書も、2回目は×のところをやるだけなので4ヶ月で終わり、3回目は×が2つの問題だけ解くので2ヶ月ですむ。3回もやると頭によく染み込む。今思えば、基本的に一年生で受験勉強は終わっていたような気がする。

小学4年生頃から始まった文学書の乱読はずっと続くが、中学から高校にかけ河出書房の世界文学全集や新潮社か筑摩書房のロシア文学全集が家にあり、納屋を改造して貰った自分の部屋に本棚を設え、勉強に疲れると気分転換に読み耽る。高校2年生、3年生では受験問題への挑戦以外に、注釈付の簡単な英文や古文を読み流し、定期試験の前日に女友達を、普段は見ない映画に誘い、ウエストサイドストーリーを見たり、下駄箱での交換日記など、石坂洋二郎の青春小説の世界にも遊ぶ。出入り禁止！の喫茶店にカップルで入っても注意もされない。成績がいいと大目に見られたか？業績のいい営業マンが多少交際費を使い過ぎても目こぼしされるのに似る？教科書を予習、受験参考書を先読み、解らないところは先生に質問して完全理解、本を沢山読み知識の裾野を広げ、読解力、論理的思考力、表現力を身につければ、医学部でなくても、どこでもチャレンジ出来る。世につれ人につれ、色々な勉強法があると思うが、塾もない、特別の受験指導もない田舎の高校で、思考錯誤しながら実践した勉強法、参考になればと思う。孫息子が高い目標を持ってチャレンジするとお爺ちゃんも頑張るって長生き、支えなくちゃいけないと、元気を貰えそう。

◎「水商売」10余年、母校に5億円寄付！

台風や豪雨、地震で電気が止まり、ガス、水道が来なくなるとお手上げだ。炊事やトイレ、入浴も出来なくなり、お店や病院も営業ストップ、移動もままならず、仕事も生産も止まる。災害時、電気は比較的早く復旧、次が水道、最後がガス。水道が止まっても井戸があり、井水を浄化する設備と非常用電源があれば病院やホテル、駅ビル、商業施設なども事業を継続出来る。近隣の住民のために飲用水を供給出来る。3.11の時●●が営業を手伝ったつくば大病院で朝10時に井水利用専用水道の通水式があり、午後に地震が発生、震源地が東北で、筑波市の水道には直接被害はなかったが、一定震度の地震があると、水道設備の損傷を避けるため、水道を止める決まり。一度止めると末端から漏水がないか確認しながら水道を再開するので、開通に時間がかかる。つくば大病院では一週間電源開発の井水だけで病院を運営、ご近所さんにも水をお裾分け、喜ばれた。

最近岡山大学病院でも導入され、殆どの国立大学病院で井水利用専用水道システムが稼働。●●の母校東大でも東大病院と医科学研究所の病院で電源開発のリスクと費用で古井戸

を改修、膜ろ過の設備を設置、浄水を安く供給、水源を二重化、事業継続性を高めた上で夫々年間3千万円と1千万円水道代を削減。電源開発という他人のふんどしで年間4千万、累計5億円ほど母校に寄付したと嘯く。初めて電源開発の手伝いをした京都駅ビルでは最初の工事で年間4千万円、もう一本井戸を掘り3千万円水道代を削減。和歌山や金沢駅のビル、大阪の鉄道病院でも導入、JR西日本では事業継続性を高めた上、併せて年間1億円近い経費削減に協力。阪神・淡路大震災では水道が止まり、駅のトイレも流せず大変だったと聞く。井水利用専用水道があれば飲み水だけでなく、きれいなトイレも確保される。

通常の病院では半日のところ、災害拠点病院では3日間水を確保することが義務づけられ、そのために？億円もする大きな受水槽を設け、「死に水」とならないよう薬剤を注入するか攪拌する措置を設ける必要。そうしないと災害拠点病院の指定を取り消され、附加される診療報酬を引き下げられ経営に打撃。電源開発のリスクと費用で井戸を掘り、浄化設備を設け水源を二重化すれば、大きな受水槽を設置しなくても、災害拠点病院の指定を維持出来る。秋田には日本では数少ない油田があり（今も！）、井戸を掘ると石油が出るリスク。国から補助金が2千万円出るので、多少のリスクを冒してもカバー出来る。故郷秋田の大学病院にも導入を提案。秋田新幹線こまち、錦秋の岩手との国境の紅葉が綺麗。

の2度目のカンボジャ紀行「東洋の奇跡クメール王朝の最高傑作 アンコール遺跡巡り4日間」（19. 5. 1～4、トラピックス）Ⅲ

⑤アンコール・トム・異星人が見る人類滅亡後の地球

先ずはアンコール・トムへ。アンコール王朝最後の栄華を誇った都市遺跡。12世紀から13世紀にかけ、ジャヤヴァルマン7世が創建、延長12キロに及ぶ環濠と城壁に囲まれた、大いなる都市。四面仏を最頂部に配した、アンコール・トムの5つの門の中でも一番美しいと言われる、23mの南大門をくぐって、アンコール・トムに入る。ここでマイクロバスからバイクの3輪タクシー、トゥクトゥクに乗り換え、バイヨン寺院へ。中央には複雑な建築様式を備えた仏教寺院が位置し、内部には「クメールの微笑み」を湛えた大きな四面像。幾つものテラスには様々な表情の49塔（196面）もの四面仏、観世音菩薩が彫られ、回廊の壁などのあちこちに「デヴァーダー」と呼ばれる女神が花の枝をかざし微笑む。まさにアンコールの華だが、表情や装飾品はみな違う。回廊もテラスも世界中から集まった観光客で立錐垂の余地もないくらいだが、やはりここでもチャイニーズが多い。

10世紀後半に建立されたという「女の砦」を意味する小さな寺院バンデス・アレイは鉄分の多い赤色砂岩と紅土を主材料としてつくられ、全体が赤い。壁面の彫刻はアンコール遺跡の中でも最も精緻、修復中で少し遠目に見た中央神殿の祠に刻まれた女神像の微笑みは「東洋のモナリザ」と称される。

タ・プロム寺院は12世紀末に仏教寺院として建立され、後にヒンズー教寺院に改修されたと考えられている。発見された時ガジュマルの巨木で覆われ、石積は崩れ放題だったが、発見当時の景観で保存する方針で、必要最低限の保存しかされていない。東西1キロ、南北600mの境内に巡らされた三重の回廊の、木々が遺跡に絡みつ়く景観は圧巻。核戦争で人類滅亡後の地球に飛来した異星人が目にする光景に通じるのだろうか！

⑥欲望の肥大化は幸福の始まりか？不幸の始まりか？

バスでシュムリアップ市内の昼食会場に向かう。いくつかの村を通る。昔来た時はガソリンスタンドは見かけず、小さな雑貨屋の店先で灯油、ガソリン、軽油が透き通ったペットボトルに入れて売られていたが、4、500戸の村に、ガソリンスタンドが二つある。それだけ車やバイクが増えたのだ。米の収穫は年一回。乾季が終わったばかりで、まだ水を張った田圃はない。灌漑が出来ないので、米の収穫が年一回しか出来ない。10年以上前のカンボジャツアーの帰途、プノンペンからバンコクに飛ぶ。黄色の乾季のカンボジャを越えタイに入ると、突然緑の田園風景が広がる。水事情の差だ。灌漑水路が発達したタイでは年に2回、3回と米が獲れるが、ここでは一回しか獲れない。乾季はココナツを収穫したり、出稼ぎに出る。揃いの青いズボンとスカートに白いシャツ姿の学生。6歳から6年間の小学校と12歳から3年間の中学校が義務教育。義務教育は無料だが、制服や学用品などの必要経費は保護者負担。小学校の就学率が77%、中学校は44%(16年、ウィキペディア)。校舎も先生も不足、2部制だという。ポル・ポト政権下で知識人が都市から農村に下方され、殺されていったことが響いているのか？先生の給料が安いのでアルバイトで家庭教師や塾の先生をやる教師もいるという。高校は15歳から17歳、18歳から21歳が大学生。後期中等教育高校、技術高校、職業訓練校が全国に360校あり、就学適齢人口の20%が通う。大学教育を受ける者は1%ほどだという。

ホテルや立派なレストランのトイレは男女別で、洋式便器と朝顔の小便器があるが、一般のレストランは男女別でも、座って済ませる洋式便器ではなく、奥に排水口のある便器に跨る。日本の和式便器は排水口の反対側から水が出て排泄物を流す自動水洗。こちらはバケツの水を柄杓ですくって流す手動水洗。奥の排水口に排泄物を落下させないといけない。体がドアを向くので、鍵をかけていないドアを開けると鉢合わせ。下水管が細いので、紙で拭いてトイレに流すとつまってしまう。脇のゴミ箱に捨てる。壁の水洗からホースが伸びている時はレバーを操って、手動式ウォシュレットと洒落込むが、標的を間違えると、ところかまわず水浸し。ホースが硬く思うように操れない時も。要注意。田舎の家は高床式が多く、家庭にトイレはなく、青空トイレ。ガイドは初めて日本に行って、ウォシュレットには随分驚いたとのこと。最も●が初めて水洗トイレに遭遇、ポットトイレではあつという間に暗黒の世界に消える分身が、いつまでも和式便器に鎮座、消えようとしないのに驚く、天井の木製タンクからぶら下がる鎖を引っ張ったら、分身が勢いよく飛んで行ったのはよいが、今度は流れ止まない水流に驚愕。何度鎖を引いても止まらない、壊してしまったと、隠れるようにその場を逃れたのは、中3の修学旅行、初めての東京、半世紀以上前。用を足し、お尻を紙で拭いて、何気なく便座の脇のボタンを押したら便器の奥から水が吹き出して顔に水を浴び、水浸しになったのは、40歳で元祖フリーターからサラリーマンに転じ、ミサワホームのリフォーム子会社で配属されたホームイング成城学園前のトイレ、四半世紀以上前。この春休み、孫娘と一緒に韓国ツアー、トイレ休憩に立ち寄った釜山の高級ホテルで初めてウォシュレットを発見したが、カンボジャでウォシュレットに出会うのはいつだろう？それまで●は生きているか？

道路の脇や畑にココヤシ。少年の頃春先、イタヤカエデの幹を傷つけ樹液を採取、メイプルシロップをつくったのと同じ様に、ココヤシを傷つけ、樹液を集め、ヤシ砂糖やヤシ酒をつくる。カナダなどでメイプルシロップを採るサトウカエデの半分しか樹液の採れ

ないイタヤカエデと違ってココヤシは一晩で5リットルも採れる。実がココナッツとして利用されるだけでなく、ヤシ砂糖、ヤシ酒に、葉や幹は燃料、更に葉は屋根、壁材、幹は板や柱として建材や船材になる優れたもの。勿論バナナも負けない。食欲を満たし、お酒に姿を変えて感性を解放、雨露を凌ぐ。木の他に石やレンガもある。石も砂岩、灰色砂岩、紅色砂岩、ラテライト、ラテライトで出来た赤い石など、建材も豊富。この地で生まれ、食べ、育ち、働き、生きて、セックスをして、子孫を遺し死ぬ。単純なサイクルを繰り返すだけなら、不自由なく暮らしていける。人類はどこで単純な再生産の軌道を外れ、欲望を肥大化、拡大再生産を繰り返すようになったのか？それは人類にとって、地球にとって良かったのか？悪かったのか？

⑦午下がりのエクササイズ

赤い石で出来た地雷博物館。地雷は1個五百円から手に入るが、除去するのに10万円かかる。内戦だけでなく、ベトナム戦争中に北ベトナムから南の解放戦線への物資の輸送路になったカンボジャへの米軍の空爆の不発弾が1割あるという。地雷は今でも第2の社会問題で、地雷で遊ぶ子供や農作業の農民が犠牲になる。掘り出して金属屑として売ろうとして失敗したり、建設工事で爆発させたり、惨禍が今に続く。

以前カンボジャに来た時は電力不足で外灯もなく、街は真っ暗。バイクも無灯火で走り廻っていた。今はバイクも照明をつけて走り、街灯が路を照らす。ネオン、時に派手な電飾も。それでも増える需要に発電が追い付かず、ベトナム、ラオスから買う。水力発電と石炭を主とした火力発電が主体で太陽光やバイオマスが少し。近隣国に比べ電気料金は高い。17年末までに農村の82%、世帯の69%に電力が供給されるが、送配電網が脆弱で停電も多い。それでもあの、星の綺麗な漆黒の世界から、随分変わったものだ。

地震がないので遺跡が残った。そのせいではないだろうが、白蟻の巣アリ塚もよく見かける。アフリカでも多いが、大人の背丈ほどのものも。カンボジャでは蟻をはじめ様々な昆虫が食卓に上る。カエル、ドラムチュラン（蜘蛛）も昆虫ではないが食べる。コオロギ、イナゴ、タガメ、ゲンゴロウ、蚕の蛹などなんでもござれだ。市場でザルに山と盛られて売っている。蜘蛛を食べるなんて悪食の信州人もびっくり！

灼熱の南国のお昼は鍋。電力不足の途上国の冷房の効いたレストランで、野菜たっぷりのもつ鍋と鶏鍋、ビーフンまである。ビーフンを入れてメカと思ったら、御飯と卵も。メの玉子雑炊まで、盛り沢山。アンカービール小瓶3ドルを2本、もう少し欲しいところだが、これ以上飲むと午下がりのエクササイズに差し支える。朝の農作業を終え、お昼の後1、2時間昼寝し、午後の農作業にかかる。昼食後は昼寝タイムだが、現代日本人に昼寝の習慣はない。プールで泳ぐ。塩のプール、血糖を減らすため利尿剤を飲み始めてから痩せたので、海パンがダブダブ。勢いよく飛び込むという訳にいかず。他には日本人父子のみ、カンボジャの地でも「我は海の子白神の」！

◎ASTROFLASH ・ ・ 宇宙に夢を！ 若者と共に！

・ ・ 東大三鷹クラブ第147回定例懇談会のご案内

11月の定例懇談会は11月21日（木）、2016年！入寮、息子？孫？のような檜枝悠太君（東大寺学園、理I）に話して頂きます。駒場同級の勝山君と起業（と言っても法人化も

まだ)、文字通りのスタートアップ、天空に懐中電灯の役をする無数の小さな衛星を打ち上げ、宇宙をディスプレイに映像（広告？）を展開する事業の構想を語って頂きます。

愚妻は新潟の小千谷出身、長岡をはじめ花火が盛んな地ですが、子供が結婚した、孫が生まれたと言ってはスポンサーになり祝いの花火を打ち上げ、会場に大音響で趣旨をアナウンス。花火の代わりに衛星を打ち上げ、アナウンスの代わりに衛星が絵や文字となって、個人のメッセージや企業の広告が宇宙に表示されるイメージ。曲がりなりにも 72 年間働き、疲れ切った頭脳ではそんなイメージしか浮かびません。新しい夢をみることも叶いません。若かったあの頃、夢多きあの頃を彷彿とさせる檜枝君に、最先端の夢を語って頂き、いつでも夢を！いつまでも夢を！共に夢を語り合い、出来れば手を貸してやれればと思います。以下、檜枝君からのメッセージです。

干場さん、お久しぶりです、2016 年三鷹寮入寮の檜枝悠太です。干場さんが主催してくださった三鷹寮 OB の方々と現役寮生とのお食事会で何度かお世話になりました。最後にお会いしてから 1 年半以上経っていますが、覚えていらっしゃるでしょうか。

さて、この度は起業に関してのご相談でご連絡させて頂きました。私は現在、友人と共に宇宙産業の分野で起業する準備を進めており、資金面で支援してくれる投資家の方や技術面で支援してくれる研究室や会社の方々と面会を重ねています。その中で様々な方からのフィードバックをもらい、私たちの事業構想に磨きをかけてきました。

しかし、技術的な目処はつく一方で、実際に投資家の方からの投資を頂いて事業をスタートするにはまだ改善するべき点が多いと感じています。ですので、出来るだけ多くの投資家の方と話してフィードバックを得たいというのが現状です。

そこでお願ひですが、もし三鷹寮 OB の中に干場さんがご存知の投資家がいらっしゃいましたらご紹介していただくことはできないでしょうか？投資家の方でなくても、ビジネス経験をもとに起業に関するアドバイスを頂けそうな方でも構いません。些細なことでも助言や指摘を頂きたいと思います。不躰なお願ひではありますが、宜しくお願ひ致します。

(1966 年入寮 干場革治 記)

日 時 : 令和元年 11 月 21 日 (木) 18 時 30 分～21 時
場 所 : 学士会館本館 301 号室 (千代田区神田錦町 3-28 TEL 03-3292-5931)
会 費 : 6000 円 (会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み。寮生・OB 学生無料)
二次会 : 別途 有志による二次会を、すずらん通の中国料理店 SANKOUEN にて開催予定
定 員 : 40 名 (先着順: 定員を超えない限り特に連絡は致しません)
申込先 : 平賀・干場 FAX 03-5689-8192 TEL 03-5689-8182
(有) ティエフネットワーク Email : tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎結びに代えて

図らずも●の無意識高効率学習法を披露。それでも 1 年浪人。本郷の法文 25 番か 31 番の階段大教室、進学校の連中があちこちで大声を上げ騒然。雰囲気飲みこまれ、●は上気、1 時間目の数学、いつもの様に簡単な計算問題からではなく、順繰りに解こうとして空回り、1 問も解けず。東大からの通知は A 判定 (～20 点、1 問分不足) で涙飲む。再見！